

研修 評価

研修名	摂食嚥下障害のある患者の看護 ～最期まで自分の口から食べたいを支えるために～				
領 域	臨床実践能力 (ケアする力)	会場	新潟県看護研修 センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル (I ～Ⅲ) 募集数(80 人)応募数(68 人)参加数(63 人)会員数(58 人)非会員数(5 人)				
日 時	令和 7 年 9 月 19 日 (金曜日) 10:00 ～ 16:00				
ねらい (目標)	1) 摂食嚥下障害のある患者の QOL を高めるための看護の役割と援助方法を理解する 2) 誤嚥を予防するために必要な食事介助や口腔ケア方法を学ぶ				
講 師	鈴木美千代 医療法人立川メディカルセンター悠遊健康村病院 総看護師長(接触・嚥下障害看護認定看護師)				
内容・方法	講義及び演習 ・摂食嚥下のメカニズムの理解 ・嚥下機能評価、アセスメント ・嚥下訓練、食事介助法 ・摂食嚥下障害によるリスクと対処法				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度(できた、ほぼできた)80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標(知識技術)の習得度(できた、ほぼできた)80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 63 名 79% 【達成】・未達成】 ○アンケート結果 (回収率 81%) ・理解度 100% 【達成】・未達成】 ・自己課題の達成度 98% 【達成】・未達成】 ○受講者の意見 ・食事介助は「誤嚥させてしまったらどうしよう」「やり方が正しいか心配」という思いがあり、とても苦手に思っていました。その人に合った方法や姿勢を知ることができ、少し苦手意識は減りそうです。病院に戻りスタッフに伝達したいと思います。 ・食事前に口腔内をきれいにしてから食事介助しており、それは継続したいと思った。寝たきり、認知で意思疎通図れない方が多く、なかなか講義内容を実践するのは難しいと感じた。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：適切だった。 ・研修アンケート結果：研修のねらいと研修内容の整合性について 100%であり研修目標は達成できた。 ・質問時間も確保でき、時間配分も適正であったと考える。 ○総括 研修会開催の良かった点・改善点、今後の継続について ・参加者した多くの看護師は、食事援助に悩んだり、困ったりしているため、実践ですぐ活用できる内容でとても良かった。				
課 題	○特になし				
担当者	教育委員				